

新生活が始まった1年生

広報(6月号・7月号・8月号)で3回にわたって町立小中学校の新1年生の様子を紹介しています。

相島小学校

相島小学校に入学した2人の1年生は、上級生や先生方、相島のみなさんと深く関わりながら人とのつながりを創り、相島の学校のよさを日々感じながら成長しています。

相島小学校は、他学年の児童と一緒に活動する時間がとても多い学校です。1年生で学習したことを上級生に発表したり、1年生から委員会活動に参加したり、休み時間や放課後に、全校児童と一緒に遊んだりしながら、つながりを強くし、上級生を手本に成長しています。小学校や中学校のすべての先生方との関わりがあり、温かい励ましを受けています。

相島のみなさんと関わりながら、島の探検をしたり、海の生き物を観察したりすることで、ふるさと相島のよさを改めて感じています。



▲お兄さん、お姉さんからお祝いされた入学式



▲登下校中に、島の人たちと会話する様子



▲入学式(新入生誓いの言葉)



▲軽可搬ポンプ操法

相島分校

4月13日に3人の1年生を迎え、全校生徒7人で令和3年度がスタートしました。入学式では、3人それぞれが中学校生活での決意や思いを自分の言葉でしっかりと述べました。

4月21日には相島少年消防クラブ(相島BFC)の入団式があり、この日から相島BFC活動に参加しました。島在住の生徒は夜回りをし、「火の〜用〜心」の声もしっかりと出すことができました。5月21日は軽可搬ポンプ操法を学び、7人揃っての初練習で先輩の動きを見ながら自分の役割の動きを確認し、小学生時に憧れていた活動に参加する喜びを感じていました。

授業では、距離をとっての交流活動や、クローズドブック(1人1台端末)を使用している意見交流を行っています。自分の考えを他の生徒と共有することで、さらに自分の考えを深めています。さまざまな取り組みをとって、互いに力を伸ばし合っています。

問い合わせ先 役場学校教育課 ☎963-1739(直)